

「COPD 患者と健常高齢者における 6 分間歩行中の呼吸数変動の比較 ～慢性呼吸器疾患の運動耐容能の新たな評価法の開発に関する研究～」について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、神戸大学が実施している上記研究に関して研究協力機関として情報提供を行っております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究の概要と目的]

2020 年 6 月頃より K 市の健常高齢者に対して、6 分間歩行試験中の呼吸数をシート状ストレッチセンサを使って衣服の上から胸部に巻いて計測します。

その計測データを加古川中央市民病院において「慢性呼吸器疾患の運動耐容能の新たな評価法の開発に関する研究」にご協力頂いた COPD の患者さまのデータと比較します。これにより COPD 患者さまの呼吸数の特徴を明らかにすることを目的とします。

また、COPD の患者さまのデータを分析し、歩いている最中の呼吸数と血液中の酸素濃度との関係を検証します。

【研究期間】

加古川中央市民病院長承認日～ 2022 年 3 月 31 日

[研究の方法]

1. 対象

- COPD 患者さん(上記の研究題目にご協力頂いた患者さま)
- 健常高齢者さん(健常高齢者 これから計測します)

2. 二次利用する情報

- 年齢、性別、喫煙レントゲン費、既往歴、身長、体重、胸囲周囲径、血圧など
- 呼吸機能検査の情報
- ストレッチセンサから得られた6分間歩行試験中の呼吸関連のデータ

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できないように処理し、対応表作成を作成し、対応表はネットワークに接続しないパソコンに保管します。

個人情報保護の観点から、対象者は研究専用の ID 番号で登録され、誰の情報か分からない状態で研究代表機関に集約されます。神戸大学においては、名前、病院での ID 番号など個人が特定可能な情報は記録しません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利 益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。
しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者情報は、論文等の発表から5年間は保管され、その後は患者を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄します。また、患者さんが本研究に関する使用の取りやめを申し出た際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

【研究成果の公表について】

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は一切利用しません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

試料・情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。しかし、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できない場合がございます。

尚、拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科
主任科部長 西馬 照明
連絡先：079-451-5500